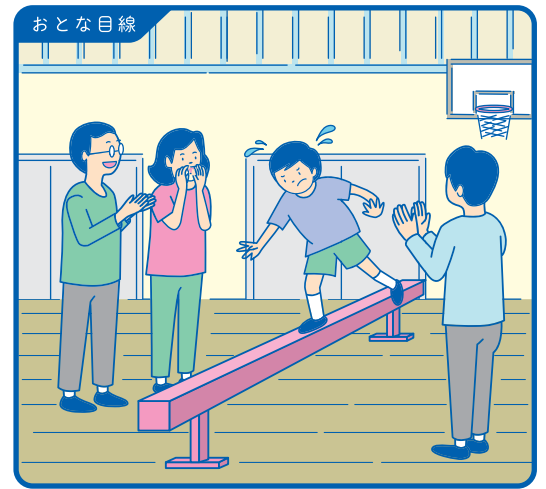




視 の 点 さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらこどもセンターでのとあるシーンを「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



手を振って笑顔で渡る平均台

● 『発達教育』
それはその子が渡る平均台の幅を、その子の足の大きさ、歩幅、バランス、諸々の姿に合わせた自在に柔軟に変えることが認められる教育です。一服することも認められる教育です。『見てごらん。やってごらん。必ず待つてるからね。』と言ってもらえることが約束された子どもに優しい教育であらねば

子どもが成長する道のりは長旅です。旅はゴールすることに意味があるのではなく、道中を楽しんだり、見聞を広めることが醍醐味です。便利な車に乗れば遠くへ行くことができます。しかし車に乗ってはいは気づけない街並みや自然があります。自転車に乗れば自転車だからこそ見える景色があります。歩けば歩いてこそ感じられる道端に咲く野花や川の流れ、風の音や香りがあります。思いがけない出会いが待っているかもしれません。

あなたは今体育館にいます。目の前には平均台が見えます。そしてその平均台の上で恐る恐る青い顔をして渡っている我が子がいます。さて、あなたはどうしますか？「君はできるよ！頑張れ！」と励ましの声をかけますか？「そんなの怖くない！負けるな！」と激をとばしますか？ あるいは渡れるようになるまで手を引いて毎日練習をさせますか？

指導者の心得

👉 行動観察をしてその子の「できる」を3段階に分けましょう。

- ① 人の手を借りずに自分でできること
- ② 少しの援助があれば自分ひとりでもできそうなこと
- ③ 援助者と一緒にならできること

👉 ②の自分の力でできつつあることがその子の芽生えです。

発達の時を迎えていると言えます。芽生えた新芽が安心して大きく太く育つよう、慌てず焦らず手塩にかけて育てましょう。

● 学びを寝かす
学びが生きるまで、長い時間が発酵と熟成を手伝っていくのです。十分な時をかけて子どもに寄り添うことは発酵の音に耳を傾けることであり、熟成を見守ることもあると思うのです。

● 「寝かし」「熟成」「発酵」
健康志向の今、大人たちが健康を取り戻そうと注目しているワードです。どれも時をかけてこそ育つかけがえのないものです。実はそっくりそのまま子育てに私たちが取り戻したいキーワードでもあります。発達教育はもとより子育ての真髄にも「寝かし」と「発酵」と「熟成」が豊かに流れていて欲しいと思うのです。

保育園・幼稚園・小学校・中学校の先生の施設見学会を随時行っております。
ご希望の方はお申し込み下さい(無料)



お問い合わせ ☎ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間：平日 / 土曜 9:00~18:00]
開催日や開催校などの詳細情報は、ホームページ「さくら日記」(https://ameblo.jp/2503sakura/)でお知らせしております。ご参加お待ちしております。



難しいゲームにお友だちが挑戦！
ドキドキしながら皆で見守っています。



さくらっ子クラブで「そろばんクラス」が
はじまりました！集中力、指先の巧緻性、
聞きとり力、数の理解を高めることを
目標としています。



【アメリカ研修報告】ラム博士にさくらの
パンフレットも受け取っていただき、
アメリカと連携してこともたちのために
頑張っていくことをお約束しました！



大きな音が苦手なお子さんにも配慮されている楽器
「ドレミパイプ」。簡単に音が出るので、子どもたちは
自由にリズムを作って楽しんでいました。



さくらっ子クッキングは夏休み特別バージョンということで
「パフェ」をつくりました！好きな材料を入れて
キレイにデコレーションして完成です！



8月のパースデーボードです。
めぐみ先生が可愛く作ってくれました！



学習の最初に集中トレーニングを行い
学習に向けての姿勢づくりをします。



夏休みの工作ですが無事に完成！
どの作品も全く違い、子どもたちの個性が
溢れています。



TPOに合わせた服選びができていたか
身だしなみついて学びました。



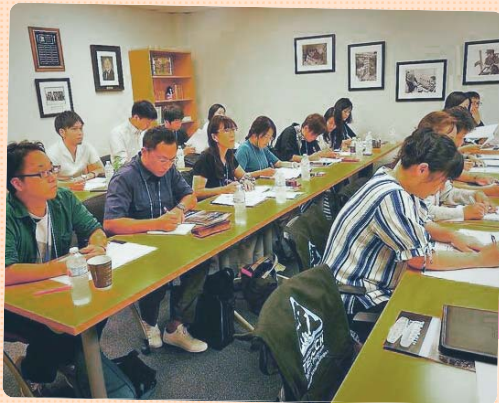
8月の活動報告

ACTIVITIES IN AUGUST

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から
8月の活動をピックアップしました。



数年前まで、負けると落ち込んだり泣いてしまう子もいましたが
今ではみんなで盛り上がり楽しんでます。



【アメリカ研修報告】TEACCHセンターの新しい取り組みである
高機能自閉症の方への就労や大学進学に向けた
プログラムの講義を受けました。



SSTでは「仲間外れ」について学びました。
仲間外れにされた人の気持ち、もし自分がされたらなど
ワークシートを使いながら考えました。



今年の夏休みの工作はスノードーム作り！
数ヶ月前から、子どもたちが作るための工程を
考えてきました！



グループの休憩時間にかき氷を作りました！
お皿を回す人、機械を持つ人、蓋を押す人と
しっかり役割分担できています。



【アメリカ研修報告】ある教室にバランスボールが置いてありました。
座っている際にふらつきたりする子にはバランスボールに
座ってバランスを取りながら授業を受けてもらうためです。
一人ひとりの特性を把握し、丁寧に発達に合わせた指導スタイル、
柔軟性が非常に勉強になりました。



創設者ショブラー教授のあと、
現在TEACCHセンターを率いておられる
ラム博士に修了証を頂き記念撮影！



グループでは漢字探しをしました。
柔軟な発想力を養うと共に「協力とは」
を実際に体験しながら学びました。